【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	EVガイドライン
対象	性別：指定なし、年齢：指定なし、疾患・病態：がん薬物療法を受けている患者、EVが起こった
介入	残留薬液または血液を吸引する
対照	残留薬液または血液を吸引しない

＊バイアスリスク，非直接性
各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率）対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
皮膚障害（発赤・腫脹）の範囲が減少	case report/	-2	-2	-2	-2	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	D(とても弱	9	1症例のcase reportの文献が介入群2報、対照群2
皮膚疼痛の減少	case report/	-2	-2	-2	-2	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	D(とても弱	9	1症例のcase reportの文献が介入群1報、対照群1
潰瘍形成発生が減少	case report/	-2	-2	-2	-2	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	D(とても弱	7	1症例のcase reportの文献が介入群2報、対照群2
症状回復までの期間の短縮	case report/	-2	-2	-2	-2	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	D(とても弱	7	1症例のcase reportの文献が介入群2報、対照群2
処置に伴う血管の損傷																		4	介入による血管の損傷にかかわる文献は確認でき

コメント（該当するセルに記入）